平成26年4月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年12月13日

上場会社名　MICS化学株式会社　　上場取引所　東
コード番号　7899　URL　http://www.c-mics.com/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 三宅　利定
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　管理部門長　(氏名) 伊藤　久美　TEL 0561-39-1211

四半期報告書提出予定日　平成25年12月13日　配当支払開始予定日　平成26年1月8日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年4月期第2四半期の連結業績(平成25年5月1日～平成25年10月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年4月期第2四半期	1,309	0.6	15	43.7	25	30.5	7	―
25年4月期第2四半期	1,301	―	10	―	19	―	△7	―

(注)包括利益　26年4月期第2四半期　6百万円　(36.6%)　25年4月期第2四半期　5百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年4月期第2四半期	1.47	―
25年4月期第2四半期	△1.43	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年4月期第2四半期	3,830	3,093	80.7	590.37
25年4月期	3,750	3,107	82.8	593.06

(参考) 自己資本　26年4月期第2四半期　3,093百万円　25年4月期　3,107百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年4月期	―	4.00	―	4.00	8.00
26年4月期	―	4.00			
26年4月期(予想)			―	4.00	8.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 4月期の連結業績予想(平成25年 5月 1日～平成26年 4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,700	5.1	35	57.6	50	16.2	20	△31.7	3.82

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正については、本日(平成25年12月13日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年4月期2Q	5,850,000 株	25年4月期	5,850,000 株
② 期末自己株式数	26年4月期2Q	610,606 株	25年4月期	610,606 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年4月期2Q	5,239,394 株	25年4月期2Q	5,239,911 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づき四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の金融緩和策や経済政策を背景に景気回復に向けた一定の動きが見られました。しかしながら、消費税増税による将来的な影響や所得環境の不安、電気料金の他、食品や日用品の値上げ、新興国経済の成長鈍化や欧州経済低迷の長期化などが懸念され、先行き不透明な状況のまま推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは「フィルミックス」シリーズによる多角的に市場をつかむ活動を継続中であり、食品分野での手詰め需要から自動給袋機向け需要への対応拡大や、非食品分野である医療用、産業用向けでの、新たな需要を掘り起こす活動で販売の拡大に努めてまいりました結果、売上高は13億9百万円（前年同四半期比0.6%増）となりました。

利益につきましては、全社あげてのコスト削減に取り組みましたが、昨年の原材料価格の高騰による影響が色濃く残り、営業利益は15百万円（前年同四半期比43.7%増）となりました。また、受取利息や作業くず売却益の計上も加えた経常利益は25百万円（前年同四半期比30.1%増）、四半期純利益は7百万円（前年同四半期は四半期純損失7百万円）となりました。

用途別の売上高につきましては、食品分野では、深絞り用途並びに薄くて強いフィルム（ＳＴ）の拡販に加えて、サイドシールを施した５層三方袋（ＳＢＮ）規格の拡販に注力しましたが、7億85百万円（前年同四半期比1.4%減）となりました。

非食品分野では、自動車向け製品が堅調な伸びを見せていることに加えて、昨年参入した医療器具用袋や従来の安定量産品が伸びてきましたが、電子分野が大きく落ち込み、2億57百万円（前年同四半期比1.9%減）となりました。

商品等につきましては、前期同様に突き刺し強度の高いフィルム（ＳＰパック）の堅調な推移と、子会社エイワファインプロセシング㈱の加工によるシュリンクフィルムの販路拡大などにより、2億65百万円（前年同四半期比8.3%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第２四半期連結会計期間末における流動資産は25億12百万円となり、前連結会計年度末に比べ91百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が82百万円、商品及び製品が13百万円、仕掛品が25百万円、原材料及び貯蔵品が14百万円増加したものの、現金及び預金が34百万円減少したこと等によるものであります。

固定資産は13億18百万円となり、前事業年度末に比べ10百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が7百万円、投資その他の資産が3百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は、38億30百万円となり、前事業年度末に比べ80百万円増加いたしました。

（負債）

当第２四半期連結会計期間末における流動負債は6億84百万円となり、前事業年度末に比べ1億13百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が1億1百万円増加したこと等によるものであります。固定負債は52百万円となり、前事業年度末に比べ19百万円減少いたしました。これは主に役員退職慰労引当金が16百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は、7億37百万円となり、前事業年度末に比べ94百万円増加いたしました。

（純資産）

当第２四半期連結会計期間末における純資産合計は30億93百万円となり、前事業年度末に比べ14百万円減少いたしました。これは主に四半期純利益7百万円、剰余金の配当20百万円等によるものであります。

この結果、自己資本比率は80.7%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ34百万円減少し、7億42百万円となりました。

当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は33百万円となりました。

これは税金等調整前四半期純利益25百万円、減価償却費45百万円、仕入債務の増加1億1百万円、未払金の増加9百万円、未払消費税等の増加7百万円等があったものの、売上債権の増加82百万円、たな卸資産の増加53百万円、法人税等の支払額21百万円等があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は45百万円となりました。

これは有形固定資産の取得による支出35百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は22百万円となりました。

これは配当金の支払額21百万円等があったことによるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成25年6月14日の「平成25年4月期　決算短信」で公表いたしました連結業績予想を修正しております。修正の詳細につきましては、本日（平成25年12月13日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	777,017	742,622
受取手形及び売掛金	654,705	737,210
商品及び製品	78,781	92,741
仕掛品	24,762	50,598
原材料及び貯蔵品	40,341	54,533
関係会社短期貸付金	800,000	800,000
その他	46,052	35,083
貸倒引当金	△422	△478
流動資産合計	2,421,239	2,512,312
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	419,439	407,637
機械装置及び運搬具（純額）	155,478	163,162
土地	634,701	634,701
その他（純額）	44,628	41,381
有形固定資産合計	1,254,248	1,246,884
無形固定資産	171	117
投資その他の資産		
投資有価証券	37,472	36,526
その他	37,495	35,036
貸倒引当金	△94	△11
投資その他の資産合計	74,873	71,551
固定資産合計	1,329,292	1,318,552
資産合計	3,750,532	3,830,865

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年４月30日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年10月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	443,093	544,554
短期借入金	21,748	21,004
未払法人税等	26,870	9,978
賞与引当金	17,159	22,412
その他	62,592	87,030
流動負債合計	571,463	684,979
固定負債		
長期借入金	5,491	4,322
退職給付引当金	1,857	2,181
役員退職慰労引当金	50,483	33,768
資産除去債務	10,500	10,500
その他	3,449	1,924
固定負債合計	71,781	52,696
負債合計	643,244	737,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	774,000	774,000
資本剰余金	1,150,310	1,150,310
利益剰余金	1,828,413	1,815,176
自己株式	△263,394	△263,394
株主資本合計	3,489,329	3,476,092
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,006	4,060
土地再評価差額金	△387,533	△387,533
為替換算調整勘定	485	569
その他の包括利益累計額合計	△382,041	△382,903
純資産合計	3,107,287	3,093,189
負債純資産合計	3,750,532	3,830,865

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
売上高	1,301,012	1,309,187
売上原価	917,544	951,648
売上総利益	383,468	357,539
販売費及び一般管理費	372,557	341,859
営業利益	10,910	15,680
営業外収益		
受取利息	7,034	4,117
受取配当金	484	552
受取補償金	1,942	1,464
作業くず売却益	2,902	2,858
その他	1,844	1,231
営業外収益合計	14,208	10,224
営業外費用		
支払利息	279	252
売上割引	395	381
支払手数料	5,000	－
その他	40	22
営業外費用合計	5,714	656
経常利益	19,404	25,248
特別損失		
投資有価証券評価損	13,462	－
特別損失合計	13,462	－
税金等調整前四半期純利益	5,942	25,248
法人税、住民税及び事業税	7,095	7,151
法人税等調整額	6,350	10,376
法人税等合計	13,445	17,527
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△7,503	7,720
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△7,503	7,720

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△7,503	7,720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,580	△946
為替換算調整勘定	△57	84
その他の包括利益合計	12,523	△861
四半期包括利益	5,019	6,858
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,019	6,858

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年５月１日 至　平成24年10月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年５月１日 至　平成25年10月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,942	25,248
減価償却費	38,021	45,061
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△2,128	△16,715
賞与引当金の増減額（△は減少）	4,787	5,253
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△456	△27
受取利息及び受取配当金	△7,519	△4,645
支払利息	279	252
投資有価証券評価損益（△は益）	13,462	－
売上債権の増減額（△は増加）	34,526	△82,302
たな卸資産の増減額（△は増加）	△22,648	△53,987
仕入債務の増減額（△は減少）	55,243	101,461
未払金の増減額（△は減少）	△4,151	9,736
預り金の増減額（△は減少）	△4,218	△484
未払消費税等の増減額（△は減少）	△9,906	7,668
その他	△3,122	13,553
小計	98,112	50,074
利息及び配当金の受取額	7,497	4,599
利息の支払額	△279	△252
法人税等の還付額	7,729	－
法人税等の支払額	△2,767	△21,076
営業活動によるキャッシュ・フロー	110,292	33,346
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△141,492	△35,716
投資有価証券の売却による収入	6,380	－
その他	761	△9,546
投資活動によるキャッシュ・フロー	△134,350	△45,262
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額（△は減少）	2,000	△744
長期借入金の返済による支出	△4,295	△1,169
自己株式の取得による支出	△243	－
配当金の支払額	△20,921	△21,034
財務活動によるキャッシュ・フロー	△23,459	△22,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	△54	469
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△47,572	△34,394
現金及び現金同等物の期首残高	716,576	777,017
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	7,845	－
現金及び現金同等物の四半期末残高	676,849	742,622

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

当社グループは、プラスチックフィルム製造事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。